

市民研究員養成講座 平成 26 年度の取組

博物館活動に有機的に関わり、博物館を支え高める担い手を養成することを目的に開始した市民研究員養成講座は 1 期 3 年で計画している。平成 26 年度は、第 1 期の 2 年目にあたっている。この講座は座学中心ではなく、主に観察調査や実験製作等実践的な活動を通して学びを深める手法を取り入れている。途中からも参加ができるため参加者は増加し、昨年の 41 名から 50 名になった。昨年は市民研究員認定者が 17 名誕生したが、今年度は新たに 9 名が追加認定され、市民研究員認定者は 26 名になった。

活動は各グループの指導者に委ねている。概ね毎月 1 回以上の活動を行った。詳細については各グループの報告を参照されたい。

各分野の指導者は昨年通りだが、陸水グループに信州大学大学院博士課程の君島祥氏に加わってもらった。

分 野	指 導 者	
植物	名取 陽	植物研究家
	岩波 均	諏訪教育会植物部会
	白鳥 保美	諏訪教育会植物部会
	武居 三男	諏訪教育会植物部会
陸水 (ミジンコ)	花里 孝幸	信州大学教授
	君島 祥	信州大学大学院博士課程
菌類 (キノコ)	小山 明人	菌類懇話会事務局長
鳥類	両角 英晴	日本野鳥の会諏訪支部
実験工作	木村 正弘	諏訪東京理科大学教授

上記指導者が一堂に会した指導者会を、1 月 16 日に開催し、全体の進捗、今後の予定の検討確認、市民研究員認定予定者の審査等を行った。

さらに博物館に関わる市民の、関わり方についていろいろ考えてもらえるように講演会を 3 回以下のように開催した。

- ・「市民参加 平塚市博物館の例」 4 月 26 日 (日) 平塚市博物館館長 澤村泰彦
- ・「つなぐ (ものをつなぐ 人をつなぐ)」 5 月 25 日 (日) 八ヶ岳環境教育企画 岡野勇二
- ・「諏訪湖の生態系」 10 月 5 日 (日) 信州大学大学院博士課程 君島 祥

この 3 回の講演会を受講してレポートを提出することと、所属するグループの活動に 7 回以上参加することが市民研究員認定基準になっている。認定者には第 1 期の活動での指導者のサポート、博物館事業への協力、また、活動内容について提案していただき、提案された取組を実施する時には推進役になってもらうことにしている。